

意見公募手続き（パブリックコメント）による一覧及び回答（追加分）

意見データ添付に不備のあった一者からの意見（1 3 件）については、以下のとおりです。

通し番号	項目	意見内容	市の考え方
1	第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗	<p>3号認定がおおしく下回っているように見える。個人からすればここから漏れるということは生活に大きなダメージがあると思う。これだけの人数がまだいることに驚きました。</p> <p>もっと人数の大きな自治体と比べても数もしくは割合が多いような気がします。この理由が知りたいです、どのように分析しているのでしょうか。新しい戦略の前に過去の分析が必要だと思います。でなければ新戦略の整合性や実効性がないと考えられます。</p> <p>今後需要量が減るということは座間市は子育てにおいて、魅力アップが他都市と比べてうまくいっていないとことを意味しているということではないでしょうか。</p> <p>高齢化率があがるということにつながり、それは税収の落ち込みとなり、また社会保障費におおきくはねかえってきます。こういうことにならないよう、持続可能な財務体質を考える面からも本戦略を考えてほしい。</p>	<p>第2期子ども・子育て支援事業計画における3号認定（1・2歳）については、量の見込み（推計需要量）を実績よりも多く見積もっている年度が多いにも関わらず、確保方策（供給量）を就学前児童数の減少を見据え、慎重に見積もったことで、大きなマイナスが出ております。</p> <p>本案における確保方策（供給量）は、各施設の届出状況等を踏まえて、より実現が見込まれる数値で推計しております。</p> <p>また、本案における3号認定の需要量については、申込割合の増加を見込んでいますが、年度間の出生数推移に強く影響を受けたものであり、いただいた御意見は、地域・子育て支援事業（幼児教育・保育）に関する指標に関する御提言として受け止めさせていただきます。</p>
2	第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗	<p>病児病後児保育事業の実績が異様に低いように見える。</p> <p>他都市との比較や低利用の原因、考え方等が書かれていないように見える、もしくは浅いと感じる。</p> <p>自分で子供を看たいと思うのが親としては普通だと思うが経済的に困難がゆえに働かざるを得ないひともいる。経済的援助でとってかえるのか、それとも利用しやすいようにするかしたほうがいいのでは。</p> <p>休みやすい会社は多くない。熱が出た幼い子供を置いて仕事に行かなければならない、というようなことは座間市としても減らすよう働きかけてほしい。</p> <p>できれば子供を親自身で看れるように環境を整えるよう市政の面からも考えてほしい。</p>	<p>いただいた御意見は地域・子育て支援事業（病児・病後児保育事業）に関する指標や施策に関する御提言として受け止めさせていただきます。</p>
3	保育人材の確保	<p>保育人材は完全に取り合いになっていると思います。</p> <p>極端な人不足のなか「確保に向けた取り組みを実施する」と書いているので、KPI指標を策定してほしい。またどのように事業をしていくのかその方向性を記載してほしい。今までと同様の手法で人材が確保できるとはとても思えない。また人が取れたとしても質の維持をどのように考えているのか。</p>	<p>本案は、こども関連施策を集約・記載したものであるため、一部施策のK P I指標設定は考えておりません。また、具体的な取組について、現在保育士確保の給付金等を実施すべく調整しておりますが、保育施設の整備や保育士の両輪で実施する必要があり、市の財政状況等も踏まえて、多角的に検討する必要がありますので、記載しておりません。</p>
4	市民のニーズ	<p>調査の実施方法の種類や方法が少なすぎると感じる。</p> <p>しかも回答数も回答率も低く、回答者バイアスがかかった偏った結果しか拾っていないのでは。</p> <p>この計画を策定する大元がこれでは意味のあるものになっていないと感じる。</p> <p>信頼度90%と書いているが、計画の策定にあたって大きな意味を持つ部分なので信頼度についてはもっと説明をするべきではないか。</p>	<p>ニーズ調査については、一体的に策定する計画の内容に反映するために実施したものであるため、国のモデル調査票等を基に、調査の種類や対象を細分化したものです。</p> <p>なお、信頼度については表を追記しました。</p>
5	市民のニーズ	<p>結果を見ても若者の回答率が12.7%で貧困は5年生だけしかいない？</p> <p>中高生やその保護者、障害児家庭、子育てに間接的にかかわっている人も調査対象に加え、そこに資産状況も含め対象層を細分化し、年齢や地域など属性ごとに異なるニーズを把握するクロス分析をしたほうがいいのではないか。</p> <p>特に座間市においてはこどもの貧困調査およびヤングケアラーの調査は必須なのでは。</p> <p>貧困もヤングケアラーも支援事業はあるが対象を大変見つけにくいので、調査に力をいれたほうがいいのでは。</p> <p>現行調査では若者の貧困や就職やメンタルヘルスケアへのアプローチ、特別支援教育や療育サービスに対するニーズも考慮されることはないように読めてしまう。</p> <p>近隣自治体で起きた事件や座間市で起きた事件を見聞きして危機感を感じています。</p>	<p>こどもの貧困の実態調査は、国や県、他自治体の事例から、小学5年生（及びその保護者）や中学2年生（及びその保護者）を対象とすることが想定されています。神奈川県において令和5年8月に中学2年生及びその保護者を対象とする調査を実施しており、県央地域をはじめとする地域ごとの集計も実施されているため、当市は今回、小学5年生（及びその保護者）に対する調査を実施し、市県の調査結果に基づき、クロス集計を行い、貧困家庭の状況を把握し、計画策定や今後の施策検討の基礎資料とすることにしました。</p> <p>また、ニーズ調査に関する御提言として受け止めさせていただきます。</p>
6	市民のニーズ	<p>乳児家庭全戸訪問をしているのだからそのときにもヒアリングやアンケートを実施すればいいのでは。大きな意味をもつ事業だと感じています。もっと有効性を上げられるよう考えてもいいのではないのでしょうか。</p>	<p>いただいた御意見は、目標6「こども・若者の未来を応援する支援の充実」に関する御提言として受け止めさせていただきます。</p>

通し番号	項目	意見内容	市の考え方
7	市民のニーズ	調査の成功率を上げるために様々なワークショップをしたり、事業関係者やNP0法人へのヒアリング、学校や園での本人たちでのディスカッション、大都市でも市長が事業者や市民と直接討議している事例もある。 アンケートなら市内中小向けクーポンや商品券、周知のためにSNSや地域連携などできることは色々あると思う。 計画の有効性を上げるためにも、調査にもっと力をいれてほしいです。	いただいた御意見は、市民のニーズ調査やこども・若者の意見の聴取についての御提言として受け止めさせていただきます。
8	市民のニーズ	各調査結果をもとにした分析に浅さを感じる。 例えば児童ホームのニーズ拡大とあるが、預け先としてのニーズにとどまらず、本当は親としては何をさせたいのか、児童ホームでは児童本人たちは何をしたいのか、親は何をしてもらいたいのかの分析ができていない。 たとえばピアノやサッカーを本当はやらせたいけど、預けざるを得ず、結果やらせないという可能性まで考慮して計画で言及をしてほしい。 現状の分析だと習い事はさせない、預ければいいとも人によっては読めてしまうのでは。	今回のニーズ調査及び計画策定においては、児童ホームの利用意向を持っている御家庭の割合やそのほかの放課後の過ごし方の意向とともに、こども本人の放課後の過ごし方に対する満足度や放課後が楽しくない場合の理由などを把握いたしました。いただいた御意見は、目標１～目標６に関する御提言として受け止めさせていただきます。
9	市民のニーズ	市の子育て支援の満足度の割合ははあきらめている割合と捉えるくらいの気構えが欲しい。	いただいた御意見は、目標１～目標６に関する御提言として受け止めさせていただきます。
10	基本理念	3章１に対する意見 ・他都市に比べて座間市の基本理念の項目は「支え合い」や「笑顔」や「輝く」など抽象的なワードがおおい印象。 大和市の環境を提供、藤沢市や鎌倉市の健やかに成長する子育て、横浜市の子供を育てる、など他市を読んでみて、もう少し行動指標の対象や方向性がわかりやすくなる表現があってもいいのではないかと思います。 あえて使用しているであろう「輝く」についてもう少し言及でもいいと思います。どういう思いを行政としては込めているのか、行政として「輝く」とはどういうことなのか説明がほしい。 一方で「子育て・子育て」のワードは共感できる。できればこども自身も共感できるワードか、こども視点でのワードを盛り込んでもいいのではないかと。 こども計画なのにこども以外の「すべての人」や「地域」を向いているようで、上位法令の趣旨とは異なっている違和感を現状の文章からは感じます。こども計画として共感がしにくいところを感じています。	「輝く」については、第五次座間市総合計画における理念等との調和を図っており、その中の「”ひと”が輝く」から、「市民一人一人が対等な立場でお互いを理解して、心豊かに生き生きと笑顔で暮らせる」ことを踏襲しています。本案では、こども自身が個性の発揮・尊重を自ら選択でき、市全体でこどもを支援・後押しする趣旨ですので、説明の追加を検討いたします。そのほかのいただいた御意見は、基本理念に関する御提言として受け止めさせていただきます。
11	量の見込み及び確保方策	第２部第２章に対する意見 ・市民ニーズ調査がそもそも低い回答率、分析の浅さ、政策反映の不足という問題があると感じるので、計画を再度見直してほしいと考えます。こども計画の重要性を市長は感じてほしいです。	この度、事業の量の見込み及び確保方策にてお示ししている値については、実績及び人口推計から算出したものとなっています。これらの値については、施設の動向を反映し、見直しを実施していきます。
12	目標１～６	・座間市は子そだてしにくいという認識が広がっている気がします。実際にそうならば今後は事件が増えたりするのでは考えてしまいまう。 この計画で他都市に差をつけ、先進事例やまだ近隣が実施していない事業も行いそういった不安や認識を払拭するようにしてほしい。	いただいた御意見は、目標１～目標６に関する事業に対する御提言として受け止めさせていただきます。
13	全般	・極端な少子高齢化社会が到来するが、座間市におていは無秩序に人口を増やしたり外国人比率を上げて労働人口、納税人口を補ってほしいとは感じません。すみやすさや治安など、こどもから大人まで座間市民全員の生活の質を維持した20年後も含めた安定的な街を目指してほしいと感じています。 質の高い教育、住環境、人権を確立し、一人一人の生産性を上げ、座間市として持続可能な高齢化率、公的社会保険、財務体質を構築してほしいです。	いただいた御意見は、市政全般にに関する御提言として受け止めさせていただきます。